

小規模企業の景況

(2022年10～12月期)

大阪商工会議所による小規模企業の景況調査(四半期毎)2022年10～12月期の結果概要は以下の通り。今期(2022年10～12月期、調査基準日:11月15日)の業況判断DIは▲16.6と前回調査から9.1ポイントの改善となった。売上額DI値は▲10.3(前回調査から4.4ポイント改善)、資金繰りDI値は▲20.0(前回調査から3.3ポイント改善)、従業員過不足DI値は▲13.1(前回調査からマイナス1.1)となった。「経営上の問題点」では、「原材料価格の上昇」が製造業で5期連続となったほか、「仕入単価の上昇」が卸売業で3期連続、小売業でも2期連続の第1位となった。サービス業では6期連続で「需要の停滞」が第1位となった。

1. 今期(2022年10～12月期)の状況

【売上額】今期(2022年10～12月期)の売上額DI(全産業)は、前回調査(2022年7～9月期の▲14.7)から4.4ポイント改善し、▲10.3となった。業種別では前回調査から、サービス業が12.2ポイント、製造業が3.7ポイント改善、卸売業は横ばい、小売業が0.2ポイント悪化した。

【資金繰り】今期の資金繰りDI(全産業)は、前回調査(▲23.3)から3.3ポイント改善し、▲20.0となった。業種別では前回調査から、卸売業は横ばい、製造業が4.9ポイント、小売業が5.4ポイント、サービス業が2.4ポイントそれぞれ改善した。

【業況判断】今期の業況判断DI(全産業)は、前回調査(▲25.7)から9.1ポイント改善し、▲16.6となった。業種別では前回調査から、サービス業が14.7ポイント、小売業が9.7ポイント、製造業が7.4ポイント、卸売業が3.2ポイントそれぞれ改善した。

【従業員数過不足】今期の従業員数過不足DI(全産業)は、前回調査(▲12.0)から1.1ポイント悪化し、▲13.1となった。業種別では前回調査から、製造業が11.9ポイント悪化し、人出不足が顕著となった。そのほか小売業は0.2ポイント悪化、卸売業が4.9ポイント、サービス業が3.7ポイント改善した。

2. 来期(2023年1～3月期)の予想

来期(2023年1～3月期)の全産業の予想DIは、売上額▲10.0、資金繰り▲18.6、業況判断▲19.7となった。

3. 経営上の問題点

製造業で「原材料価格の上昇」、卸売業と小売業で「仕入単価の上昇」、サービス業で「需要の停滞」が第1位となった。

※DI値とは……ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、本調査では前年同期(2021年10～12月期)と比較して売上額、業況判断、資金繰りなどが「増加」「好転」したなどとする企業割合から、「減少」「悪化」したなどとする企業割合を差し引いた値である。

【調査の概要】

- ・調査名：第170回中小企業景況調査（中小企業庁・中小企業基盤整備機構）
- ・調査時期：2022年11月2日～11月15日（前回：2022年8月22日～9月1日）
- ・調査方法：経営指導員による、調査票に基づく聴取り調査
- ・調査対象：大阪市内の中小企業・小規模事業者
 - ※ 全国7,905件中、大阪商工会議所分324件。
 - ※ 本紙では、大阪商工会議所分のうちとくに小規模事業者（従業員：製造業20人以下、商業・サービス業5人以下）290件について取りまとめた。
〔製造業77件、卸売業62件、小売業69件、サービス業82件〕

■DI推移（全産業）

	167回調査	168回調査	169回調査 (前回)		170回調査 (今回)	
	2022年(R4) 1～3月期	2022年(R4) 4～6月期	2022年(R4) 7～9月期	2022年(R4) 10～12月期	2022年(R4) 10～12月期	2023年(R5) 1～3月期
売上額（増-減）	-34.3	-11.0	-14.7	-17.8	-10.3	-10.0
資金繰り（好-悪）	-24.6	-16.5	-23.3	-19.9	-20.0	-18.6
業況（好-悪）	-34.9	-19.6	-25.7	-24.7	-16.6	-19.7
従業員（過-不）	-11.8	-13.4	-12.0	—	-13.1	—

■経営上の問題点

順位	製造業	件数	卸売業	件数	小売業	件数	サービス業	件数
1位	原材料価格の上昇 →	30 (31)	仕入単価の上昇 →	28 (29)	仕入単価の上昇 →	22 (13)	需要の停滞 →	12 (16)
2位	需要の停滞 →	16 (15)	需要の停滞 →	8 (11)	消費者ニーズの変化への対応 →	7 (11)	利用者ニーズの変化への対応 →	10 (10)
							材料等仕入単価の上昇 ↑	10 (9)
3位	従業員の確保難 ↑	7 (4)	販売単価の低下・上昇難 →	4 (4)	購買力の他地域への流出 ↑	6 (3)		

[注]（ ）内は前回（2022年7～9月期）調査結果

↑ = 前回より高順位

→ = 前回と同順位

↓ = 前回より低順位

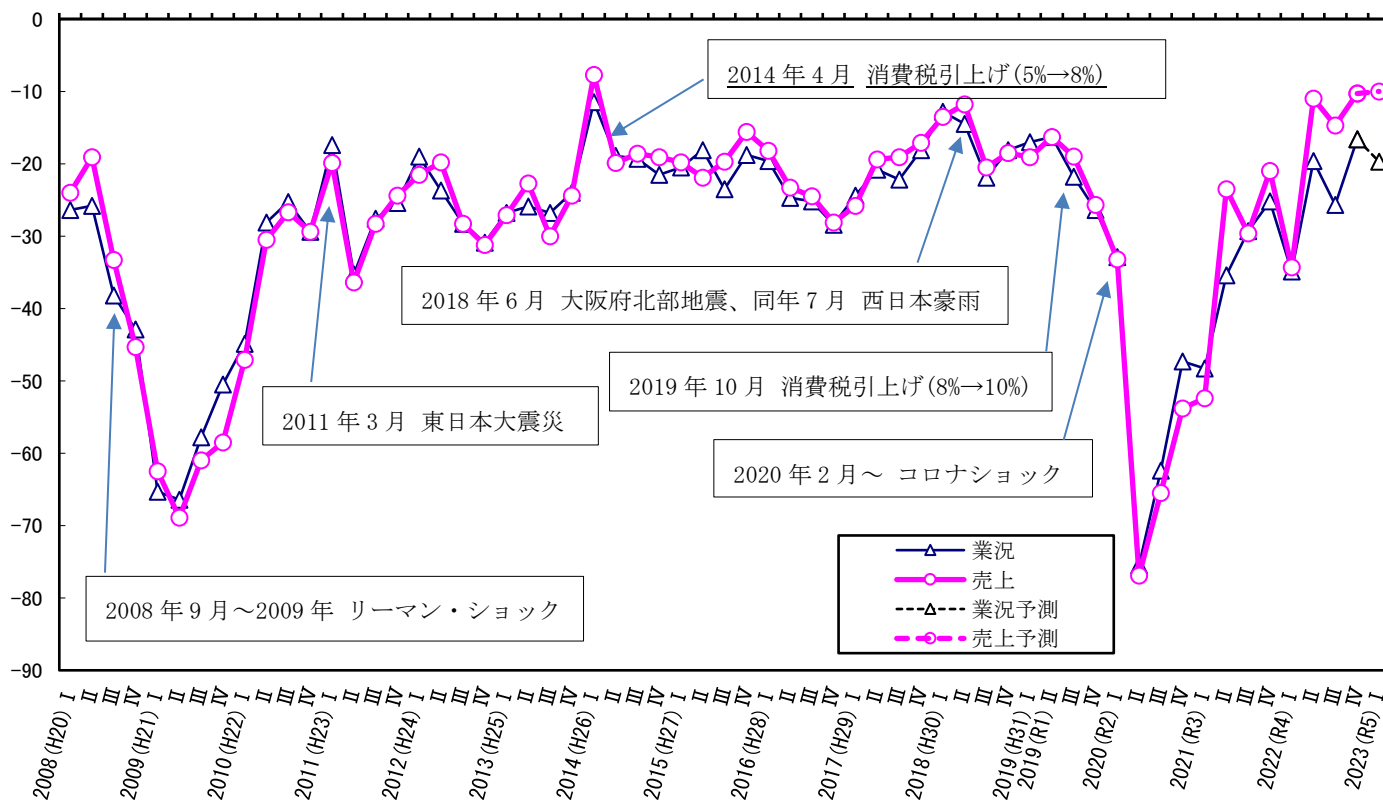
■ 状況比較表（業種別）

項目	業種	今期の状況(10~12月期)				前回(7~9月期)からの推移	来期の予想(1~3月期)			
		増加	不変	減少	増一減		増加	不変	減少	増一減
売上額										
	製造業	27.3	36.4	36.4	▲ 9.1	3.7	22.1	40.3	37.7	▲ 15.6
	卸売業	27.4	38.7	33.9	▲ 6.5	0.0	24.2	40.3	35.5	▲ 11.3
	小売業	27.5	29.0	43.5	▲ 15.9	▲ 0.2	30.4	31.9	36.2	▲ 5.8
	サービス業	30.5	29.3	40.2	▲ 9.8	12.2	24.4	42.7	31.7	▲ 7.3
	合計	28.3	33.1	38.6	▲ 10.3	4.4	25.2	39.0	35.2	▲ 10.0
	前回	25.7	33.9	40.4	▲ 14.7		20.2	41.4	38.0	▲ 17.8
資金繰り		好転	不変	悪化	好一悪		好転	不変	悪化	好一悪
	製造業	3.9	77.9	18.2	▲ 14.3	4.9	3.9	75.3	20.8	▲ 16.9
	卸売業	4.8	71.0	24.2	▲ 19.4	0.0	1.6	75.8	22.6	▲ 21.0
	小売業	8.7	59.4	31.9	▲ 23.2	5.4	11.6	56.5	31.9	▲ 20.3
	サービス業	6.1	63.4	29.3	▲ 23.2	2.4	7.3	65.9	24.4	▲ 17.1
	合計	5.9	67.9	25.9	▲ 20.0	3.3	6.2	68.3	24.8	▲ 18.6
	前回	3.8	67.8	27.1	▲ 23.3		5.5	67.1	25.3	▲ 19.9
業況		好転	不変	悪化	好一悪		好転	不変	悪化	好一悪
	製造業	13.0	51.9	35.1	▲ 22.1	7.4	10.4	54.5	29.9	▲ 19.5
	卸売業	12.9	54.8	32.3	▲ 19.4	3.2	11.3	46.8	33.9	▲ 22.6
	小売業	14.5	53.6	31.9	▲ 17.4	9.7	18.8	44.9	34.8	▲ 15.9
	サービス業	23.2	43.9	31.7	▲ 8.5	14.7	15.9	43.9	36.6	▲ 20.7
	合計	16.2	50.7	32.8	▲ 16.6	9.1	14.1	47.6	33.8	▲ 19.7
	前回	14.4	45.2	40.1	▲ 25.7		10.6	49.7	35.3	▲ 24.7
従業員		過剰	適正	不足	過一不					
	製造業	1.3	68.8	24.7	▲ 23.4	▲ 11.9				
	卸売業	4.8	83.9	6.5	▲ 1.6	4.9				
	小売業	0.0	75.4	11.6	▲ 11.6	▲ 0.2				
	サービス業	7.3	69.5	20.7	▲ 13.4	3.7				
	合計	3.4	73.8	16.6	▲ 13.1	▲ 1.1				
	前回	3.4	76.0	15.4	▲ 12.0					

「今期の状況（除従業員）」は2022年10~12月期状況であり、前年同期の2021年10~12月期との比較。来期の予想は2023年1~3月期予想であり、2022年1~3月期との比較である。

「前回」欄は2022年7~9月期調査の数字。従業員は、過去との比較ではなく、業務量に照らした過不足。

■景況グラフ（売上額・業況）



※表示値＝D I（増加・好転－減少・悪化）値

※ I 期=1-3月、II 期=4-6月、III 期=7-9月、IV 期=10-12月

※2023年 I 期予想値